

お知らせコーナー

平成24年山口県選奨受賞（山口県病院協会推薦）

山口県病院協会 副会長
周南市立新南陽市民病院

名誉院長 小田裕胤 先生

教育や芸術、文化、スポーツの振興、産業や福祉などに功績があった人をたたえる県選奨の表彰式が11月19日県庁で行われ、保健衛生・環境部門において山口県病院協会副会長の小田先生が受賞されました。

小田先生は昭和44年山口大学医学部を卒業以来今日まで整形外科医として一途に医療の道を歩んで来られました。

平成11年からは周南市の前身である新南陽市の南陽病院に病院長として赴任され、以来今日の周南市立新南陽市民病院の病院長を、そして現在は名誉院長として引続き病院運営に精励されています。また、(財)周南市医療公社では理事長として地域医療の振興にその手腕を発揮されています。

当病院協会においては、平成13年に理事に就任後、常任理事、副会長を歴任し、協会の諸事業に積極的に取り組まれており、今年度の県選奨受賞となりました。

心よりお祝い申し上げます。



山口県庁にて、奥様と共に

日本医療機能評価認定病院の紹介

○新規（Ver6.0で認定）

・医療法人社団青寿会 武久病院 12月7日

○更新（Ver6.0で認定）

・医療法人社団松涛会 安岡病院 11月2日

山口県内において、日本医療機能評価認定病院は40病院となっています。



病院協会の主な行事予定

- | | | |
|--------|-------------|------------------|
| ○1月5日 | 医療関係団体新年互礼会 | (会場：ホテルニュータナカ) |
| ○1月18日 | 常任理事会 | (会場：新山口ターミナルホテル) |
| ○1月25日 | 四県病院協会連絡協議会 | (会場：ホテルグランヴィア広島) |
| ○2月15日 | 冬季医療経営講習会 | (会場：ホテルニュータナカ) |
| ○2月21日 | 事務長部会幹事会 | (会場：新山口ターミナルホテル) |
| ○3月8日 | 事務長部会研修会 | (会場：新山口ターミナルホテル) |

編集後記

あけましておめでとうございます。

1961年に創設された世界に誇るべき国民皆保険制度は、今年で53年目を迎えます。保険証があれば、「いつでも」「どこでも」「誰にでも」医療サービスを受けることができる素晴らしい社会保障制度です。しかし、今の日本には様々な理由により保険証を持たない人、持てない人が増えています。100万人とも言われています。国民皆保険制度が空洞化、形骸化していると言える数字です。保険料が払えない、金の切れ目が命の切れ目になってきています。しかし、国民皆保険制度は、私たちの生活をより安心感のある継続性のあるものにするために必要不可欠であり、世代に引き継ぐべき有益な社会保障制度であることに間違いはありません。

ただ、医療サービスの維持には、大変なお金がかかります。現在、年間35兆円の医療給付費は社会保険料だけでは賅えず、国庫から約10兆円が入っております。この10兆円のために借金を重ね続ける日本は、破産してしまうといわれています。しかし、本当に大変な額なのでしょうか？全世界の総保険額が100兆円といわれている民間医療保険に、日本国民が毎年支払っている保険料は、いくらだかご存知ですか？約半分の50兆円です。皆保険制度のないアメリカでさえ30兆円です。昼夜を問わずテレビコマーシャルにより繰り返し、健康不安をおられた結果です。私たちの国には国民皆保険制度があるのですから、本当は、民間医療保険は必要ないものなのです。そのことをもっと人々に知っていただき、私たちの国民皆保険制度を守っていき

(神徳 眞也)